

国

語

注  
意

- 一 問題は、四問で八ページです。
- 二 解答用紙は、この用紙です。とりはずして使用しないでください。
- 三 答えは、すべて解答用紙の指定されたところに記入してください。
- 四 「はじめ」の合図の後、最初にすべてのページがあることを確認してください。

問 国  
題 語  
用  
紙

— 次の文章を読んで、下の(一)～(五)の問いに答えなさい。

(一) 上の文章中の(1)——(3)——の片仮名の部分を漢字で書きなさい。

(二) <sup>ア</sup>響音の頭をなでた とあるが、この時のお父さんの気持ちとして、最も適切なものを、次の1～4の中から選んで、その番号を書きなさい。

- 1 千弦の音が以前と変わったのは思い過ぎだと分かってもらいたい気持ち。
- 2 妹でありながらも千弦の音の変化に胸を痛めている響音を思いやる気持ち。
- 3 はつきりものを言わない響音に自分の考えを主張するよう促したい気持ち。
- 4 自分自身も辛い状況なのに千弦の心配もできる響音を誇らしく思う気持ち。

(三) <sup>イ</sup>響音は少しほっとする とあるが、その理由として、最も適切なものを、次の1～4の中から選んで、その番号を書きなさい。

- 1 生き生きしたピアノの音色が出なくなった千弦と会うことに緊張を感じていたが、顔を合わせずにすんだから。
- 2 考えなければならぬことが多く疲れていたが、早く帰宅したことによって十分に体を休めることができるから。
- 3 千弦に会ったら悩みについて相談に乗らなければいけないと思っていたが、今日のところは会わずにすんだから。
- 4 千弦はピアノの練習で毎日忙しいのに、自分は好きなことをしてのんびり過ごしていることも誰にも責められないから。

※1 弟子入り〓ここでは、陶芸が趣味の祖父に、最近響音が茶わん作りを教えるようになったこと。  
※2 燈子〓響音の父の妹で、響音にはおばに当たる。

(小俣麦穂「ピアノをきかせて」による。)

(四) きゆうに、お父さんの「響音をちゃんと  
見ているか」が思いだされて、響音はしお  
しおと席にすわった。とあるが、この時の  
響音の気持ちを四十五字以上、五十字以内  
で書きなさい。(句読点を含む。)

(五) 国語の授業で上の文章を読み、「響音」  
の人物像について考えることになった。グ  
ループで話し合う前に、まず、ノートに各  
自の考えをまとめた。次は、ある生徒の  
【ノートの一部】である。  
【 】に入る「響音」の言葉や行動が、上の【A】の場面  
の文章中には何箇所かある。そのうちの  
一つを、一文で抜き出して書きなさい。

【ノートの一部】

〔「響音」の人物像〕

自分の本心をあまり言わない人物だ  
と思った。

○根拠となる「響音」の言葉や行動



二 一次の文章を読んで、下の(一)～(五)の問いに答えなさい。なお、①～⑥は段落の番号を表している。

(一) 上の文章中の(1)――(3)――の漢字の読みを平仮名で書きなさい。

(二) 上の文章中の  と  に入る言葉の組み合わせとして、最も適切なものを、次の1～4の中から選んで、その番号を書きなさい。

- 1 A 例えば B しかも
- 2 A 確かに B むしろ
- 3 A 結局 B よって
- 4 A 一方 B つまり

(三) 日本人の伝統的な声の美意識はというと、「面白いこと」「雑音」にあるのだとあるが、日本人が「雑音」に美意識を感じるようになった事情を四十五字以上、五十字以内で説明しなさい。(句読点を含む)ただし、「紙と木」「環境」「価値」の三つの言葉を用いて書くこと。

(四) 上の文章中の  に入る最も適切な言葉を、上の文章中から三字で抜き出して書きなさい。

（山崎広子「声のサイエンス あの人の声は、なぜ心を揺さぶるのか」による。）

- ※1 声の価値観⇨右の文章では、「声の美意識」と同じ意味で使われている。
- ※2 ピッチ⇨音の高さ。
- ※3 辻弁士⇨道ばたで演説などをする人。
- ※4 たたき売り⇨道ばたで、商品を置いた台などをたたき、大声で呼びかけ次第に値を安くして商品を売ること。
- ※5 がまの油売り⇨ヒキガエルの皮膚からでる分泌物からつくったという民間薬を売る人。
- ※6 口上⇨あいさつや商売などと言う、一定の形式に従った、ひとまとまりの言葉。

(五) 国語の授業で上の文章を読み、まず、西

洋の声の美意識について考えることになった。そこで、各自が①～③段落の内容を表にまとめ、更に理解を深めるためにQ&A（問いとその答え）を作成した。次は、ある生徒の【ノートの一部】である。

上に入る答えの根拠となる一文を、上の文章中から抜き出して、そのはじめの五字を書きなさい。（句読点を含む。）

【ノートの一部】

西洋の声の美意識について	
段落	話題
①	発声
②	声の美意識
③	街の音

分かること  
石によって作られた声

必要最小限の音  
〔楽器…澄んだ音  
正確なピッチ

Q&Aによるまとめ

Q7 声が「石によって作られた」とは、どのようなことか。

A7 声は石造りの住居から影響を受けたといふこと。

Q2 街の中にも「必要最小限の音」しか存在しないのは、なぜか。

A2

（ここに答えが記入されている）

三 次の文章と【感想の交流の一部】を読んで、下の(一)～(六)の問いに答えなさい。

青空の井戸よわが汲む夕あかり行く方を思へただ思へとや

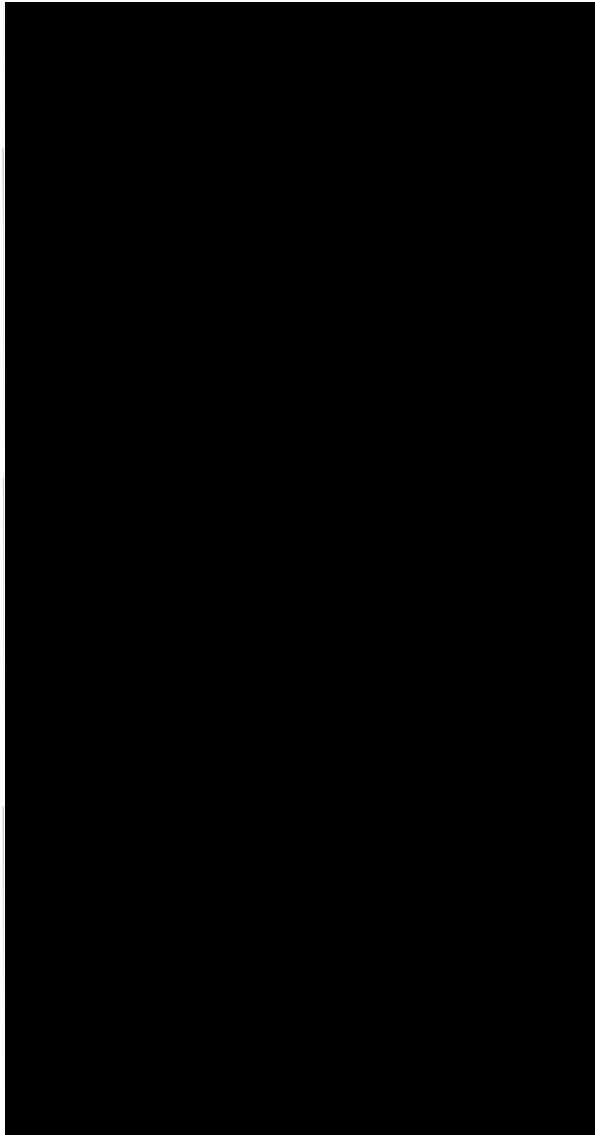
『みづかありなむ』 山中智恵子

(一) 次の文字は、上の文章中の「絡」<sup>ア</sup>を行書で書いたものである。この文字の○で囲んだ①と②の部分に表れている行書の特徴の組み合わせとして、最も適切なものを、次の1～4の中から選んで、その番号を書きなさい。



- 1 ① 筆順の変化
- 2 ② 左払いからの連続
- 3 ① 点画の省略
- 4 ② 右払いの方向の変化
- 5 ① 縦画からの連続
- 6 ② 筆順の変化
- 7 ① 右払いの方向の変化
- 8 ② 点画の省略

(二) 中の「に」と異なるはたらきをしているものを、上の文章中の1～4の中から一つ選んで、その番号を書きなさい。



(坂井修一「ここからは始める短歌入門」による。)

※ 茫漠＝広くてとりとめのない様子。

【感想の交流の一部】

(一郎) この歌は何でも自由に想像して読んでもよいのですよね。

(夏子) それは違うと思います。そのような読み方をすると、文章にあるように「気分だけでわかった気になる危険もある」と思います。

(一郎) それでは、この歌をどのように読んだらよいのでしょうか。

(夏子) 文章によれば、何でも自由に想像してよいのではなく、と  
いう読み方をしてもよいということなのだと思います。

(三)  A に入る言葉として最も適切な言葉を、上の短歌の中から五字で抜き出しなさい。

- (四)  B に入る最も適切な言葉を、次の1～4の中から選んで、その番号を書きなさい。
- 1 読みきれない
  - 2 描ききれない
  - 3 絞りきれない
  - 4 割りきれない

(五) 上の文章の内容に合っているものとして、最も適切なものを、次の1～4の中から選んで、その番号を書きなさい。

- 1 この歌は、読者に唯一の正解を与えない点で難しいが、そこにおもしろさもある。
- 2 この歌は、現実にはない空想の世界を描いているので、読者の解釈に任されている。
- 3 この歌は、短歌を含む文芸の行く方や日本の歴史を、読者に問いかけている。
- 4 この歌は、読者に対して命令する言葉を畳みかけており、調子に強い張りがある。

(六) 【感想の交流の一部】の  に入る最も適切な内容を、上の文章中の言葉を使って、十五字以上、二十字以内で書きなさい。(句読点を含む。)



四 国語の授業で、昔の人の生き方の知恵について書かれた古典の文章を読んで話し合  
い、意見文を書くことになりました。次の【I】と【II】について、下の(一)～(五)の問  
いに答えなさい。

【I】 古典の文章

貧しき者は財たからをもて礼とし、老いたる者は力をもて礼とす。おのが分を

(財貨をもつてするのを  
礼儀と心得)

(体力をもつてするのを  
礼儀と心得ている)

知りて、及ばざる時は、速やかに止やむを智ちといふべし。許アさざらん

(できない)

(やめる) (知恵のある  
生き方)

は、人の誤りなり。分を知らずして、しイひて励むは、おのれが誤りなり。

貧しくて分を知らざれば盗み、力おとろへて分を知らざれば病を受く。

【II】 グループでの話し合い

(太郎) この古典の文章を読んで、「生き方の知恵」というテーマで話し合いま  
す。皆さんの考えを発表してください。

(次郎) 「生き方の知恵」ということですが、この文章は現在とは違う言葉で書か  
れているから、僕にはよく分かりませんでした。

(花子)

確かに分かりにくいところがありますね。でも、文章にある「」

の部分は、自分の立場や能力を分かって、という意味ではないでしょうか。

(一) 許アさざらん とあるがどのようなことを

許さないのか。最も適切なものを、次の

1～4から選んで、その番号を書きなさい。

1 貧しい人が、お礼の気持ちをお金で表  
すこと。

2 年老いた人が、無理をして力仕事をす  
ること。

3 どうやってもできない場合は、すぐに  
やめること。

4 他人が間違えたときでも、自分が責任  
を取ること。

(二) しイひて の読み方を現代仮名遣いに直し  
て、平仮名で書きなさい。

(三) 【II】の文章中には、不適切な敬語が含  
まれている。その敬語を適切な表現に直し  
て、平仮名六字で書きなさい。

(四) 【II】の文章中の  に入る最も適  
切な語句を、【I】の文章中から八字で抜  
き出して書きなさい。

(恵子) 私もそう思います。それに、「及ばざる時は、速やかに止む」とありますが、私は無理をして失敗したことがあります。

(次郎) そうすると、この文章には自分の力の限界を知って行動するのが賢い生き方だ、という考えが書かれているということですよ。

(太郎) なるほど。そのように考えたのですね。他に意見のある人はいますか。

(文雄) 僕の部活動の顧問の先生は、「自分の力の限界は、自分では分からないのだから、自分で力の限界を決めるな」と申していたけれど……。

(雪子) そうですね。私は合唱部で夏のコンクールに向けての練習を始めたとき、最初はうまく歌えませんでした。先輩の助言をもとに考えながら練習を工夫して、本番ではうまく歌うことができました。コンクールで金賞を取ったときには、本当にうれしかったです。

(恵子) 私も努力することは大事だと思います。でも、そのことと自分の実力をわきまえないで理想を追うこととは違うと思います。

(次郎) そもそも「貧しき者は財をもて礼とし、老いたる者は力をもて礼とす」というのも、自分が置かれている状況が分かっていない、ということですよ。ね。

(花子) 文章中にもあるように、人は自分が置かれている状況を理解せずに無理をすると、かえって事態を悪化させるのかも知れませんね。

(中略……この後も話し合いは続いた。)

(太郎) いろいろな意見が出ましたね。では、話し合いで出た意見を参考にして、筆者の考えに対して意見文を書いてみましょう。

(五) あなたも、このグループの一員として筆者の考えに対する意見をまとめることになりました。【Ⅰ】と【Ⅱ】を参考にして、あなたの考えをまとめ、意見文を書きなさい。ただし、以下の条件に従うこと。

- 1 百六十字以上、二百字以内で書くこと。(句読点を含む。)
- 2 二段落構成とし、第一段落には、自分の力の限界を知って行動するのが賢い生き方だという考えに賛成か反対か、あなたの立場とその理由を書くこと。第二段落には、第一段落の内容を踏まえて、この古典を読んで考えたことをこれからの生活にどのように生かしていくかについて書くこと。
- 3 題名と氏名は書かないこと。
- 4 正しい原稿用紙の使い方をすること。
- 5 { や || の記号(符号)を用いた訂正はしないこと。
- 6 文体は、常体「だ・である」で書くこと。

国語解答用紙

—					
(五)	(四)		(三)	(二)	(一)
					(1)
	45				ける
					(2)
	50				(3)
					<

○

受検番号

○

得点



四

(五)

(四)

(三)

(二)

(一)

200

160